

しもうち・なかむらしゅうらくかつどうそしき

下内・中村集落活動組織（長野市）

• 組織の活動面積 A= 3.6 ha	組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) □
• 組織の構成員数 約 23 人	取組開始年度	平成27年～	平成27年～	—

構成員	下内集落会員及び耕作者(集落外)
-----	------------------

当地区は、旧戸隠村の東南に位置し、北向き傾斜地で面積の小さな耕地、正に中山間地そのものであります。戦後、葉たばこ栽培が盛んな時期もありましたが、耕作者の高齢化、後継者不在等の中で耕作面積が減少し、呼応するように耕作放棄地も増加をしている現状でございます。

そんな中で今回、多面的機能支払交付金事業に取り組むことになりましたが、振り返って見ますと、この地域は、従来から全く地形が変わっていない。つまり基盤整備等の事業が行われないうまの地域であります。

定年帰農者、兼業農家が殆どですが、事業には、集落全20戸及び地区外からの耕作者が構成員となり、事業の趣旨に従い、農地維持、景観形成等を手がけ始めたところでございます。

地域の皆で協力 里山保全

用水路の点検・整備



先人が大変な苦勞をして設備した用水路。幾度かの改良で便利になったが、取水口の点検・整備は欠かせません

遊休農地の保全活動



しばらく耕作放棄した畑の再生は、まず草刈から

景観形成・生活環境保全活動

地区内の幹線道路沿いに花(百日草等)を植えて景観形成

